

令和2年度 宮城県気仙沼圏域人材確保協議会 介護人材確保・定着支援研修

介護施設における新型コロナウイルス感染予防・ 拡大防止の取組み ～ささづ苑での感染事例から～



令和2年9月4日(金)



特別養護老人ホーム ささづ苑
副理事長 施設長 岩井 広行
<http://www.sasazuen.or.jp>

社会福祉法人宣長康久会とは

(特別養護老人ホームささづ苑とは)

- 富山市南部に位置する高齢者施設
- 平成11年4月に開設
- 特養定員70名(従来型48名、ユニット型22名)
- 短期定員20名、通所定員35名
- 居宅介護支援センターと地域包括支援センター
- 従業員数140名(うち正社員103名)
- 平成29年8月 特養「ささづ苑かすが(定員29名)」開設



ささづ苑の周辺環境および外観

富山市内から立山連峰



周辺環境



ささづ苑



ささづ苑かすが



ユニット型特養ホーム ささづ苑かすが

- 省エネ性の高い先進的な老人福祉施設として、
H28年度 **経済産業省のZEB実証事業で採択**
- ZEB※化設備の概要
(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)



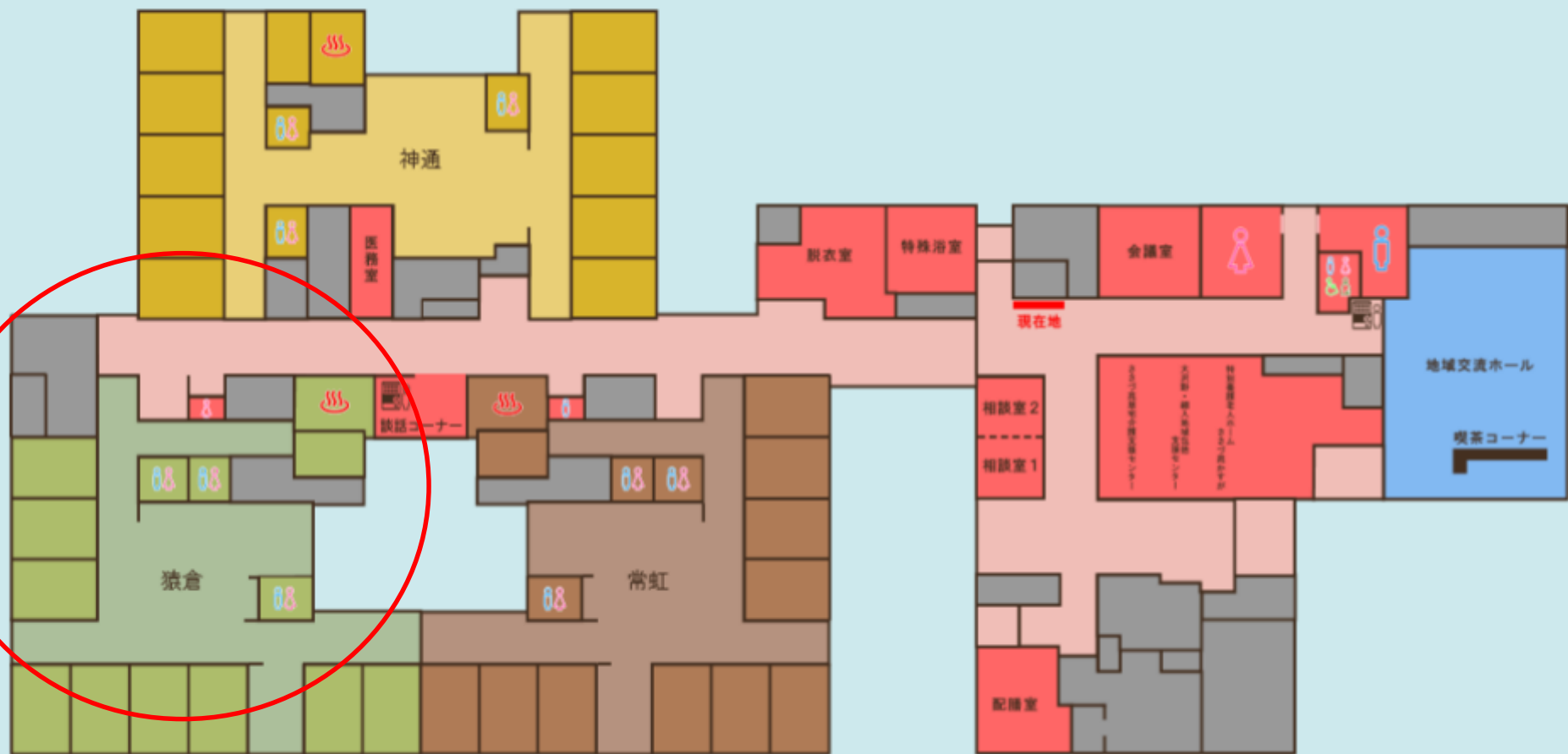
- 設備費の2/3が補助
- 光熱費が60%OFF



H28年度新築の福祉施設では全国で唯一採択

ささづ苑かすが 館内案内図

ご案内



経営理念

平成27年4月改定

1. 特長

全職員で知恵を出し、
半年かけて**全面改定**

2. 5Sの基本理念

さ し す せ そ

3. 行動指針

② 地域共存

→ 地域とともに繁栄

④ 自己実現

→ 自身の進化に挑戦し
達成感を得る

【法人の経営理念】

私たちは、皆さまが安心して幸せな生活を、住み慣れた地域で営んでいただくために貢献していきます。

【基本理念】

基本理念 / 5Sの理念



【行動指針】

- ① 利用者本位 利用者様の「声」に耳を傾け、一緒になって考え、思いやりのある高品質サービスの提供に努めます。
- ② 地域共存 地域のニーズを把握し地域との交流を深めることで、地域とともに繁栄していくことを目指します。
- ③ 公正堅実 法令やルールを守り、常に社会人として自覚と責任をもった言動を行います。
- ④ 自己実現 広い視野と旺盛な好奇心を持ち、自らの進化に挑戦し続けて、仕事を通じて自己実現を図ります。
- ⑤ 情報開示 法人の運営や活動状況、財務状況等を積極的に公開し、事業経営の透明性保持に努めます。

施設入居者の状況

R1.3.31現在

1. 特別養護老人ホームささづ苑(定員48名)

要介護別利用者数(年間延べ)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
利用数	0	1092	5,241	5,949	4,986	17,268	3.86
構成	0.0%	6.3%	30.4%	34.5%	28.9%	100.0%	

要介護度別男女構成

区分	性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	男女比率	平均年齢
人数	男性	0	0	3	3	2	8	17.8%	87.1
	女性	0	3	11	14	12	40	82.8%	88.8

2. 地域密着型特別養護老人ホームささづ苑(定員22名)

要介護度別利用者数(年間延べ)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
利用数	0	112	2,158	3,404	2,170	7,844	3.96
構成	0.0%	1.4%	27.9%	44.0%	26.7%	100.0%	

要介護度別男女構成

区分	性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	男女比率	平均年齢
人数	男性	0	0	3	2	1	6	23.3%	83.5
	女性	0	1	3	8	4	16	76.7%	87.3

3. 地域密着型特別養護老人ホームささづ苑かすが(定員29名)

要介護度別利用者数(年間延べ)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
利用数	0	304	5,225	3,164	1,583	10,276	3.59
構成	0.0%	3.0%	50.8%	30.8%	15.4%	100.0%	

要介護度別男女構成

区分	性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	男女比率	平均年齢
合計	男性	0	0	3	2	1	6	21.0%	86.7
	女性	0	1	12	7	3	23	79.0%	88.7

自己紹介

- 昭和33年生まれ 62才 富山県出身
- 昭和55年3月 国立大学 経済学部を卒業
- 昭和55年4月 (株)北陸銀行入行
富山県、石川県、福井県、北海道、
東京、名古屋、本部勤務を経験
- 平成21年7月 ささづ苑に現役出向し、施設長就任
- 平成22年7月 ささづ苑に転籍、現在に至る
- 保有資格 介護支援専門員
- 公職等 富山県老施協副会長、富山県社会福祉法人経営協理事
富山市社会福祉審議会委員、富山市社協理事

介護職員のコロナ感染経過について

- 4月18日(土)夕刻 富山市保健所からの通知
既陽性者の濃厚接触者としてPCR検査の結果
→ かすが介護職員の陽性が判明
- 4月19日(日)
 - 7:30 施設長・事務長による緊急会議で法人体制決定
 - 8:00 保健所への情報提供(入居者&職員)
 - 11:00 法人幹部職員を招集し、今後の方針伝達
 - 11:30 法人HPに職員の感染のお知らせ掲載

 - 16:00 富山市からの記者会見
 - 夕刻 地元放送局からニュース報道

本人のプロフィールと勤務状況

- プロフィール

20歳代 男性 今春養成校新卒 介護福祉士
自宅で両親・兄と同居

- 感染経路及び症状

先に発症した同居家族から家庭内で感染と推定
本人は感染期間中及び入院後も終始“無症状”

- 日別経過の詳細は別紙

令和2年4月19日

関係者 各位

特別養護老人ホームささづ苑かすが
施設長 古楽政美
特別養護老人ホームささづ苑
施設長 岩井広行

ささづ苑かすが職員の新型コロナウイルス感染について

平素は法人の運営にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

18日(土)17:00にささづ苑かすが介護職員1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。感染経路は本人の家族が発症していることから、家族からの感染だと推測できます。本人は健康状態に異常ありませんが、感染家族が体調不良を訴えた今月12日(日)より出勤停止としております。

法人としては、富山市保健所及び富山市介護保険課とも連絡をとり対応しています。現時点で実施している対応は以下の通りです。

1. 感染職員と濃厚接触があった職員の出勤停止。
2. 本人が勤務していた特別養護老人ホームささづ苑かすがの消毒
3. 感染拡大防止の観点から、職員及び利用者様の往來を制限。

今後の対応については、すでに担当者より皆様にご連絡している通りですが、不明な点等あれば各担当者までご連絡下さい。

利用者様やご家族様及び関係機関の皆様には多大な負担とご心配をおかけしている事をお詫び申し上げますとともに、ご理解とご協力をお願いいたします。

(本件にかかる照会先)

特別養護老人ホームささづ苑かすが
施設長 古楽政美
TEL 076-468-1000
特別養護老人ホームささづ苑
施設長 岩井広行

4月19日会議後、 法人HPに掲載し 関係各所へ送付



感染判明後(4/19～)の具体的対応

- ① 全入居者(家族)・利用者への連絡を実施 15:00に完了
- ② 富山県及び富山市など行政および関係機関への報告
- ③ 特養、ショートの新規利用者の受入停止
なお、デイサービスは別の場所のため営業を継続
- ④ かすが罹患職員と同一ユニット職員5名の自宅待機
- ⑤ かすがへの他部署からの職員の応援派遣(3名)

⑥ かすがで勤務する職員(応援含む)の宿泊先確保

⑦ ささづ苑⇔かすが 両施設間の職員の移動制限
かすが配置職員の移動制限、ゾーニング指示

⑧ マスコミ取材への積極的対応
法人facebookで現状を随時発信



⑨ 居宅&地域包括事業所のテレワーク実施

⑩ 入居者家族への安心メール便及びTV電話
面談システムの実施

4月法人ホームページへのアクセス数

令和2年4月アクセス日別アクセス数

日	訪問数	ページ	備考
4月1日 水	60	103	
4月2日 木	27	43	
4月3日 金	24	85	
4月4日 土	12	46	
4月5日 日	18	104	
4月6日 月	22	50	
4月7日 火	27	133	
4月8日 水	25	66	
4月9日 木	28	87	
4月10日 金	26	118	
4月11日 土	17	81	
4月12日 日	14	17	
4月13日 月	25	62	
4月14日 火	24	111	
4月15日 水	30	172	
4月16日 木	38	137	
4月17日 金	34	96	
4月18日 土	47	118	
4月19日 日 ※	1618	6359	
4月20日 月	1045	3845	
4月21日 火	280	788	
4月22日 水	219	712	
4月23日 木	346	1124	
4月24日 金 ※	341	1015	
4月25日 土	130	328	
4月26日 日	77	320	
4月27日 月	168	545	
4月28日 火	127	513	
4月29日 水	63	199	
4月30日 木	96	327	
平均	166.93	590.13	
合計	5008	17704	

令和2年4月検索文字列(キーワード)

順位	キーワード	備考
1	ささづ苑	
2	ささづ苑かすが	
3	ささづ苑コロナ	
4	ささづ苑 かすが	
5	ささづ苑 富山	
6	ささづ苑 コロナ	
7	特別養護老人ホームささづ苑かすが	
8	富山市 ささづ苑	
9	笹津苑	
10	ささづ苑かすがコロナ	

令和2年4月閲覧

順位	閲覧ページ	備考
1	トップページ	
2	ささづ苑かすが職員の新型コロナウイルス感染について	
3	ささづ苑かすが	

※新型コロナウイルスに関するお知らせ掲載日

(参考)2019年4月 アクセス数

訪問数: 502 (一日平均: 20.43)

ページ: 2216 (一日平均: 73.86)

※訪問数: 当日内のアクセス総数(同じ訪問者でもアクセス毎にカウントされます)

ページ: 当日内のアクセスページ数

何を守ったか？



1, 入居者様の安定した変わらない生活

- ・職員は平穏を保ち、最大限努めた 福祉職の鑑！

2, 職員の健康と安全

- ・かすが独自の感染予防ルールの徹底
- ・感染の可能性が高い職員の特別休暇を認める

3, 法人ブランド(風評被害から生じる施設イメージ)

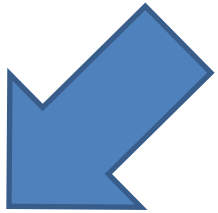
- ・マスコミ取材は積極的に受け入れ、かすがで何が起きて、どう対応してるか、広く知っていただいた

法人として苦勞したこと

- ① 世間(地域)や職員家族からの風評被害への対応
- ② 介護職員の宿泊先確保に難航 7名分
⇒施設内にベッドを持ち込み対応(最長18日間)
- ③ 相次いだ職員からの休暇願には基本的に応諾
感染の可能性が高い職員には特別休暇付与
- ④ 応援職員の抜けた穴への他部署からの協力体制
- ⑤ 職員による訴えなどへの対応(メンタルヘルス)

法人として勇気づけられたこと

- ① 多くの方々からの励ましの言葉と支援物資の提供していただいた
- ② 他部署の仲間たちからの励まし
- ③ 利用者さんや御家族からの温かいお言葉
- ④ 職員間で感染対策に関するアドバイス



全職員からの
頑張ろう
メッセージ

重大事態にまで至らなかったポイント

- ① 感染が判明した職員からの早期かつ自発的な上司への報告
＝ 職員教育(指導)の徹底
- ② 法人内体制の早期確立と明確化
総括責任者:岩井 現場責任者:かすが施設長
- ③ マスコミをはじめとした、積極的な情報開示
地元放送局、新聞社からの取材依頼にはすべて対応
- ④ 職員間での報告・連絡・相談
- ⑤ 状況変化に応じた細やかな対処指針の変更と職員への周知

PCR検査全員陰性！！！！！！

- 4月24日(金) 15:00すぎ PCR検査・・・全員陰性の連絡
(施設職員5名、入居者7名の計12名)
- 15:30 法人HPに掲載
- かすがの自宅待機職員5名は、翌週月曜日から現場復帰
- 他部署からの応援職員3名は、2週間かすがで勤務継続
5月10日(日)から応援元の現場復帰となる。
- 感染した職員は、5月18日(月)から職場復帰

業者の当施設への対応も両極端

- A社 おしぼり・タオル等納入業者
職員の感染報道後、納入品の全額買取の請求
- B社 福祉用具の販売・レンタル業者
職員宿泊用ベッドの提供依頼に対し、即日納入
- C社 PCやOA機器納入業者
テレビ電話システムの提案、機器無償貸与

行政等からの支援

- 富山県
- 富山市（保険者）
- 富山市保健所
- 老施協、県社協、その他関係団体
- 地域の皆さん

令和2年5月25日

職員のみなさまへ

社会福祉法人宜長康久会

理事長 柳瀬 茂宣



特別慰労金の支給について

この新型コロナウイルスの感染が広がる中、以前と変わりなく多くのご利用者様に接して下さっている職員のみなさまに心より感謝いたします。

また、先の職員に感染者が発生した緊急事態の際にも、みなさまは感染拡大防止に努められ、ご利用者様の健康やご家族の安心のために日々尽力し、施設でのクラスター発生を見事に抑止してくださいました。

中には世間から心ない風評が立てられたりし、自分のご家族も含めてご心配された方もおられるでしょう。その気持ちを振り切って、毎日出勤し、ご利用者様の笑顔と安全を守るみなさまを誇りに思うとともに、一日でも早く以前の穏やかな毎日が来ることを祈っています。

そこで、ほんのささやかではありますが、みなさまの毎日の奮闘に感謝するために慰労金を送らせていただきます。仕事が終わってほっとしたときに、家で好きなお茶を飲んだり、仲間と食事をしたり、心を休めるのに使っていただければ幸いです。

この先、以前の穏やかな毎日が必ず来ます。その日まで、皆で手を取り

2020/9/4で、不安を一人で抱え込まずに過ごしていきましょう。

職員の頑張りに 法人理事長より 職員メッセージ ＋ 特別慰労金



偏見なく迎えられ感謝 県内でコロナ陽性の介護職男性 職場復帰

2020.05.20 00:44

4月に新型コロナウイルスに感染した特別養護老人ホーム「ささづ苑かすが」（高山市下夕林）に勤務する20代の男性介護職員が職場に復帰し、北日本新聞の取材に応じた。無症状ながら県内の医療機関に入院していた。感染者への偏見や差別がインターネットなどで横行しているが、「同僚や入所者に遠く迎えられ、ほっとしている。『自分は大丈夫』と通信せず、誰もがリスクと向き合ってほしい」と語った。（藤田 榮登）

職員は、同居する家族の感染が判明したことからPCR検査を受診した。4月18日に陽性が判明し、その日のうちに入院。感染前は、高齢者と接する仕事に就いているため、手洗いやアルコール消毒をこまめに行い、自宅でも「3密」を避けて、家族と食事の時間をずらしていた。職場も、入所者の家族の面会禁止などの対策が取られていた。それだけに「まさか自分がかかるとは思わなかった」。

入院後も発熱や咳などの症状は出なかったが、施設の同僚や入所者が感染していないか不安な日々を送った。4月24日に女性施設長から電話で濃厚接触者全員の陰性が伝えられ、「ようやく少し心が楽になった」と明かした。

入院中は毎日体温と血中酸素濃度を測り、看護師らが体調を確認。個室で過ごし、孤独がつらいと感じることもあったが、家族や同僚と連絡を取り、励まし合った。「医療従事者が感染のリスクのある中、『何でも言って』と優しく接してくれ、感謝している」と話した。

PCR検査で陰性が確認でき、4月28日に退院。その後は自宅療養となった。5月中旬になり、職場復帰が18日に決まった。復帰前日には、「職場に迷惑をかけた自分が戻っていいのか、同僚や入所者、その家族に冷たい目で見られるのでは」という不安が拭えなかった。

約1カ月ぶりの復帰当日、そんな不安を吹き飛ばすように、同僚らは「待ってたよ」「また顔を見られてうれしいよ」と迎えてくれた。仕事場では普段と変わらず入所者一人一人に声を掛けて介助した。「誰かに必要とされるのがうれしい。これから頑張りたい」と思いを新たにした。

ネット上には感染者を差別し、非難する書き込みが後を絶たない。「かかりたくてかかる人はいない。対策をしても『自分は大丈夫』ということはない。それを知ってほしい」と、誰にも感染リスクがあることを訴えた。



5/18(月)~ かすが職員 職場復帰！



令和2年5月20日
北日本新聞 朝刊
1面トップで掲載





特別養護老人ホーム ささづ苑さんの投稿の写真

持ち物アップロードについて



特別養護老人ホーム ささづ苑さんの投稿の写真

持ち物アップロードについて



特別養護老人ホーム ささづ苑さんの投稿の写真

持ち物アップロードについて



特別養護老人ホーム ささづ苑さんの投稿の写真

持ち物アップロードについて



特別養護老人ホーム ささづ苑さんの
投稿の写真



特別養護老人ホーム ささづ苑さんの投稿の写真



特別養護老人ホーム ささづ苑さんの投稿の写真



2020/9/7

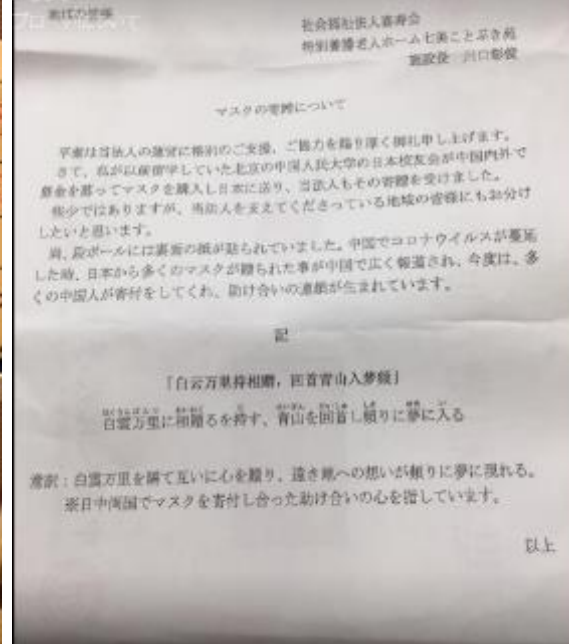
特別養護老人ホーム ささづ苑さんの投稿の写真



特アアップロードに



特別養護老人ホーム ささづ苑さんの投稿の写真



特別養護老人ホーム ささづ苑さんの投稿の写真



TV電話システムによる通話



いつもお世話になっております。
ささづ苑 従来課の△△です。

〇〇様の最近のご様子をお届けします。

7月はおやつに力を入れておりまして、
水羊羹やあんみつなど甘さたっぷりの
おやつを提供させていただいています。

「おいしいです」と量を気にせず夢中で
食べておられました。

今後ともよろしくお願い致します。



安心メール便の送付例

地域交流ホール 無償開放しています

認知症カフェでの地域交流ホール使用例



2020/9/1 施設内の地域交流ホールにベッドを持ち込み職員が寝泊まり

富山 介護施設運営の3法人 コロナ・災害備え協定



柔らかく食べやすくした食料を手にする
野口さん＝富山市下夕林

高齢者が利用する介護施設の調理職員らが新型コロナウイルスに感染した場合に備え、富山市の三つの社会福祉法人が5月下旬、給食の提供をカバーしあう協定を結んだ。調理ができなくなった施設の給食を他の施設が作る仕組みで、通常の食事を食べることができず、柔らかく食べやすくした「ソフト食」が必要な利用者に継続して給食の提供ができる体制を構築した。新型コロナウイルスだけでなく、災害発生時でも協力し、介護施設の機能維持を図る。(藤田愛夏)

お年寄り向け「ソフト食」

協定を結んだのは、社会福祉法人「宣長康久会」(富山市下夕林)、「誠心会」(同市黒川町塚原)、「光風会」(同市黒川)の3法人は富山市西部で特別養護老人ホームやショートステイ施設を運営。給食会社に委託している1施設を除き、施設内で栄養士と調理職員が食事を作っている。各法人によると、特別養護老人ホームでは、利用者の半数以上にかんがり飲み込めなくなる方が多い「嚥下障害」があり、特に嚥下障害の利用者には専用の食

食事提供助け合い

材を使う食事を提供している。もしも栄養士や調理職員が新型コロナウイルス感染や濃厚接触により勤務できなくなった場合、施設の調理機能がストップしてしまう。そうした場合、通常の食事であれば以前同様には給食会社から提供を受けられるが、ソフト食は食料の手配などで8日以上かかる。県内での感染拡大を受け、「非常時でも給食を止めてはならない」との危機感から、栄養士らが4月中旬から近隣施設同士で連携を構築し、5月下旬に協定を締結した。今後、水害や地震などの災害時やノロウイルスの発生時などにも他施設から協力を受けられる体制ができた。

協力を求められた施設側は、施設の確立とは別に協定で取り決めた職立を用意する。必要な作業は、主菜と副菜の冷凍食料を人数分に分けて真空パックし、味付け用ソースを作るだけ。提供施設の負担を最小限に抑え、協力を求める施設で

も調理担当ではない職員が加熱するだけで給食を出せるようにした。

宣長康久会が運営する特別養護老人ホーム「ささづ苑」の管理栄養士、野口久子さんは「新型コロナウイルスの感染拡大や災害はいつ起こるかわからない。顔の見える関係をつくることで、法人の枠を越えて助け合っていきたい」と話している。

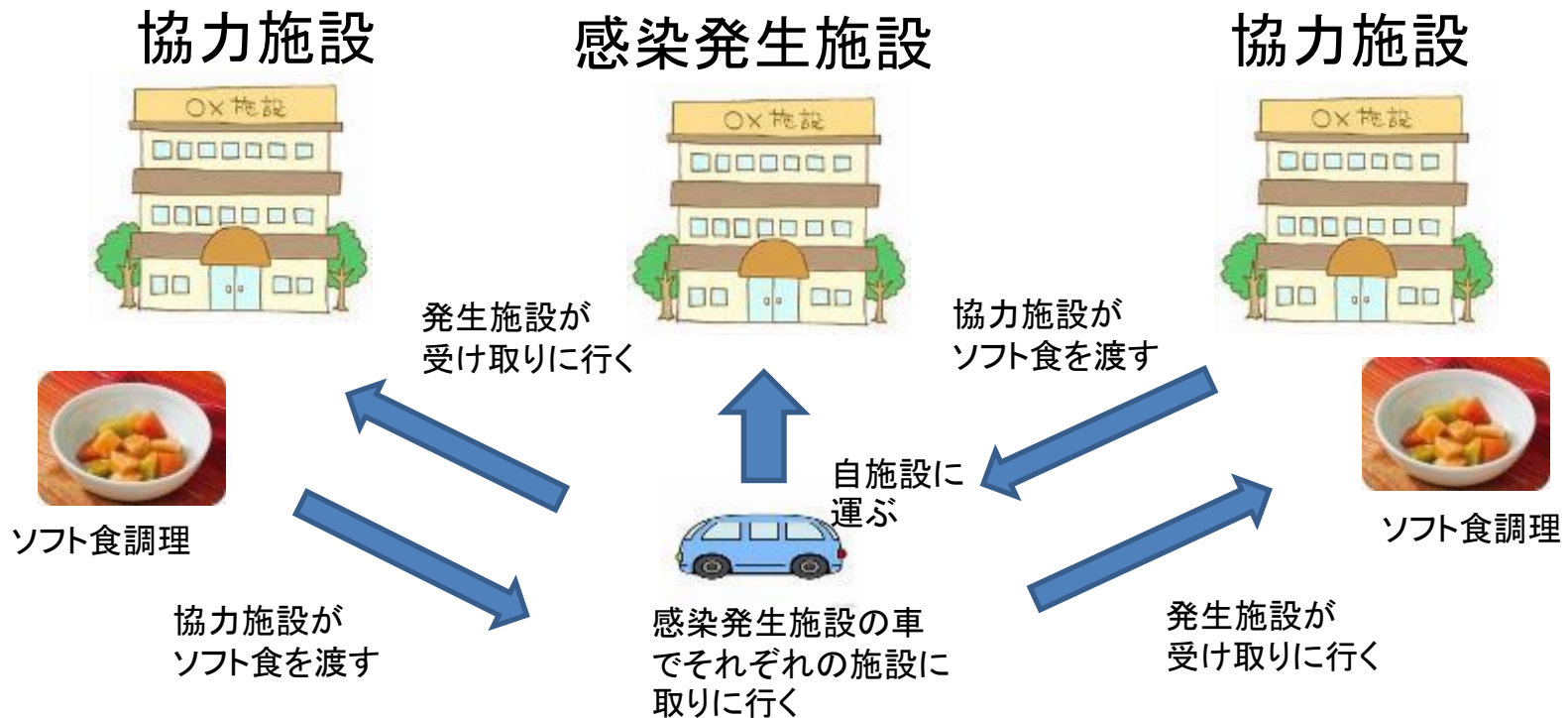
3社会福祉法人で 給食相互協力協定 締結(令和2年5月)

特養を経営の3施設

- ・喜寿苑
- ・にながわ光風苑
- ・ささづ苑

各施設10km以内に位置

給食相互協力協定の概要



NHK富山のローカルニュースで紹介



7月7日放送



ニュース富山人

G

月曜～金曜 6:10～19:00



NHK富山放送局 ニュース富山人 とやまここから
https://www.nhk.or.jp/toyama/toyama_kokokara/

感染時における職員派遣に関する協定

(趣旨)

- 第1条 富山県(以下「甲」という。)と富山県老人福祉施設協議会(以下「乙」という。)は、富山県内の介護保険施設、その他の施設等において感染症が発生した場合に、当該施設等に職員を応援派遣するため、次のとおり必要事項を定めるものとする。
- 令和2年9月1日 調印予定
富山県知事 ↔ 富山県老施協会長

NHK NEWS WEB

富山 NEWS WEB

2020年

クラスター備え介護職員派遣協定

09月01日 19時28分



ことし4月、富山市の老人保健施設でクラスターが発生し、“介護崩壊”直前の状況となったことをうけて県はクラスターが起きた施設に応援職員の派遣を速やかに要請するため介護施設の団体で作る協議会と協定を締結しました。

1日県庁で行われた協定の締結式には、石井知事と「特別養護老人ホーム」などで作る県老人福祉施設協議会の木原誠三会長、「老人保健施設」で作る県介護老人保健施設協議会の浦田哲郎会長が出席し、協定書に署名しました。

今回の協定では県内の介護施設でクラスターが発生して職員が不足した場合、県は介護崩壊となる事態を防ぐためそれぞれの協議会に応援の介護士などの派遣を要請することが盛り込まれています。

締結式で県老人福祉施設協議会の木原会長は「施設では感染予防対策を徹底しているが、クラスターが絶対に発生しないとは言えない。協定をもとに施設間の協力を構築していきたい」と述べました。

ことし4月、富山市の老人保健施設で起きたクラスターでは入所者と職員あわせて59人が感染し県介護老人保健施設協議会から派遣された介護士や看護師が入所者のケアにあたりましたが派遣までに時間が掛かったことが課題となっていました。

クラスターが起きた施設に職員を派遣した県介護老人保健施設協議会の浦田会長は「今回の協定によって万が一の時には前回よりもスムーズに職員を派遣することができると思う」と話しています。

シェアする  



●NHK富山 放送局

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/toyama/20200901/3060005359.html>

●チューリップテレビ(TBS系列)

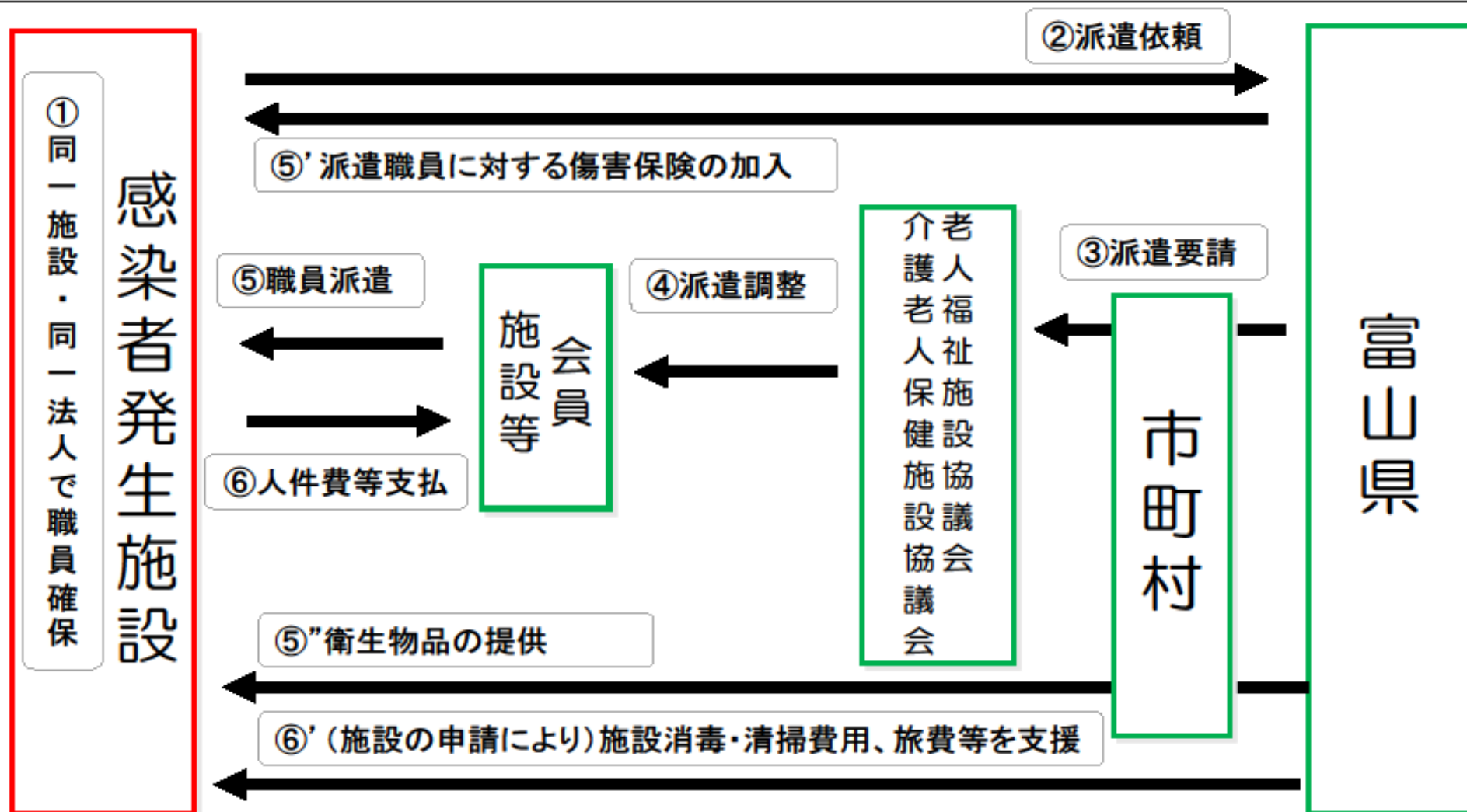
https://www.tulip-tv.co.jp/news/index.html#news_09

●富山テレビ(フジ系列)

https://news.bbt.co.jp/topics_detail.phtml?Record_ID=73ecc4d6eb8959b86c3c737157df716a

応援職員派遣の主なフロー

同一施設・法人で可能な限りの対応をしたにもかかわらず、職員が不足する施設に対し、老施協、老健協へ、職員の派遣を要請。県は、傷害保険の加入、衛生物品の提供、かかりまし経費等の支援を実施



新型コロナウイルス感染症の発生に 備えた対応チェックリスト ver.1.2

全国社会福祉法人経営者協議会 令和2年5月1日作成 8月12日更新

① 利用者と職員の健康管理

② 感染発生時のシミュレーション

- (1)職員から、「新型コロナウイルスに感染の疑いがある」と報告を受けた場合
- (2)職員から陽性者が発生した場合の体制
- (3)利用者から感染が発生した場合
- (4)施設内での食事提供ができない場合
- (5)衛生用品の確保等
- (6)連絡・情報発信公表の方法や手順
- (7)風評被害への対処
- (8)他法人との連携

③ 対応方法等の周知・徹底

施設長として心がけていること

- 法人のポリシー = 『Do & Think』 **とりあえずやってみよう**
自分たちで考え、自分たちのアイデアを出す習慣
 - 職員が動き易いように背中を押し、“かたち”にしてあげる
 - “モノ”によっては、他の職員を巻き込み、法人を挙げての対応に
 - そして、法人外部のヒト・モノ・カネをフルに活用する
- **職員に成功体験を与え、モチベーションアップにつなげる**

当法人の取り組みについて、何でもお気軽にお問い合わせくださいませ。

[TEL:076-467-1000](tel:076-467-1000)

FAX:076-468-0001

MAIL:ins-m@sasazuen.or.jp